

次世代住宅プロジェクト2025 サステナブル建築物等先導事業(次世代住宅型)

令和7年度予算 環境・ストック活用推進事業(42.03億円)の内数

子育て世帯・高齢者世帯など幅広い世帯のニーズに応える住生活の質の向上や、生活に関する課題解決のため、健康・介護、少子化対策等に寄与するIoT技術をはじめとする住宅分野における先導的な技術等を活用した住宅の実用化・市場化に向けて課題・効果の検証を行う事業に対して支援を実施。

事業概要

【対象事業】

IoT技術をはじめとする住宅分野における先導的な技術等を活用したリーディングプロジェクトについて、下記の2タイプを支援

- ＜先導タイプ＞ 先導的な技術等を活用し、住宅への実用化に向けた課題・効果等の実証事業を行う取組
- ＜市場化タイプ＞ 先導的な技術等を活用した住宅・サービスの実現に向け、市場化に向けた課題検証を、実際に供給される住宅において行う取組

【補助率】 調査設計計画費用、建設工事費、効果検証費等の1/2 等

【限度額】 1プロジェクトあたり3億円 ※1プロジェクト3年以内 等

＜住宅や住生活の質の向上に資する取組テーマ(例)＞

高齢者・障害者等の自立支援

高齢者や障がい者等にとって、プライバシーが確保されつつ、自立的な日常生活(建具等の自動開閉、移動支援、自力での入浴や排泄)を可能とする住宅や、災害時の自立的な避難(災害情報の通知、避難のための経路確保・移動支援)を可能とする住宅・サービスの実現

健康管理の支援

高齢者等にとって、プライバシーが確保されつつ、病気の早期発見を可能とし、なるべく長く健康かつ自立的な生活を送ることを可能とする住宅・サービスの実現

防犯対策の充実

居住者の個人情報・プライバシーが確保されつつ、子どもをはじめとする居住者の安全・安心の確保を可能とする住宅・サービスの実現

家事負担の軽減・時間短縮

住宅のレイアウト変更や掃除、メンテナンスの容易性を前提とし、子どもにとっての安全性にも配慮して、家事負担(子どもの見守りを含む)の軽減を可能とする住宅・サービスの実現

コミュニティの維持・形成

居住者の個人情報・プライバシーが確保されつつ、高齢者等が地域のサポートや繋がりといった共助を得られる仕組みや、マンション居住者同士でのサポートや繋がりといった共助が促される住宅・サービスの実現

物流効率化への貢献

住宅のセキュリティや居住者のプライバシーを確保しつつ、不在配達等の削減を可能とする住宅・サービスの実現

その他

安全・安心の向上(防災)や省エネ化・省資源化、健康の増進、外部不経済の排除、利便性の向上、子育て支援、維持管理の効率化、新たな日常(テレワーク等)の実現等

